

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第2回枚方市空家等対策協議会計画作成部会
開 催 日 時	平成29年6月30日（金） 10時00分から 11時30分まで
開 催 場 所	枚方市役所 別館4階 第三委員会室
出 席 者	部会長：村上委員 副部会長：高瀬委員 委 員：小川委員、狩野委員、川島委員、妹尾委員、染林委員 鳥野委員、西中委員、松尾委員、三宅委員
欠 席 者	岡委員、中村委員
案 件 名	1. 開会 2. 案件 （1）空家等実態調査結果の概要について （2）答申（素案）について （3）今後のスケジュールについて 3. 閉会
提出された資料等の 名 称	・次第 ・資料1 枚方市空家等実態調査結果の概要について ・資料2 答申（素案） ・資料3 今後のスケジュール（案） ・参考資料1 空家等実態調査 調査票
決 定 事 項	・本日の意見を踏まえた上で、次回の部会で答申（案）の確認を行い、答申の確定に向けた手続きを進める。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0
所管部署（事務局）	環境部 環境保全課

審 議 内 容

1 開 会

部会長：平成29年度第2回枚方市空家等対策協議会計画作成部会を開催させていただきます。
それでは、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

事務局：本日は部会委員13名中、2分の1以上の11名の委員にご出席いただいております。
したがって、枚方市空家等対策協議会規約第5条第2項の規定に基づき、本部会が
成立していることをご報告させていただきます。

2 議 題

案件(1) 空家等実態調査結果の概要について

部会長：ただいま事務局から、空家等実態調査結果の概要について報告を受けましたが、こちら
の内容について、ご意見等はございますか。

委 員：資料1の3ページに建物総数が96,045件とありますが、いつ時点のデータか記載
しておいたほうがよいのではないのでしょうか。

事務局：データの基準日がわかるよう、記載させていただきます。

委 員：資料1の12ページに鉄道駅から徒歩5分圏内として250メートルと記載しておられ
ますが、不動産関係の表記では、徒歩1分を80メートルとしています。

事務局：鉄道駅からの距離に関する整理や集計の方法については、事務局で再度検討させてい
たきます。

委 員：資料1の6ページに登記簿謄本の情報に基づく建物の築年数の分析をされていますが、
登記だけではどうしても対象となる物件が少なくなってしまいますので、固定資産税の
課税情報も利用すればよいのではないのでしょうか。

事務局：課税情報を利用できるかも含めて、検討させていただきます。

委 員：資料1の10ページに準住居地域とありますが、そのような用途地域はありましたでし
ょうか。

事務局：以前は8種類でしたが、現在は12種類となり、新たに準住居地域などの用途地域が増
えました。

委 員：今回調査を実施した空き家の登記情報は、全部お持ちでしょうか。

事務局：持っています。

委 員：登記情報から所有者の情報などを一定推測することも可能ですので、具体的な案件にな
ったときは利用できるのではないかと思います。

事務局：今後の参考とさせていただきます。

委 員：空家等実態調査の結果をどのように活用していくのでしょうか。

事務局：まずは枚方市域に、どれだけの空家等があるのかといった現状を把握するために調査を
行いました。今後、この調査結果を利用して空家等の所有者等に対して意向調査を実施
し、利活用の意思があるのかといったことを把握したいと考えております。

委 員：調査結果のデータは、基礎データとして参考になるということはわかりますが、計画を
つくるための審議にあたっては不必要ではないのでしょうか。

委員：市域における空家等の基礎データが無ければ、対策をどのように行うのか検討が難しいので、方向性としては間違っていないと思います。

委員：方向性としては間違っていないんですが、これまでの審議では、協議会の場で空き家に関する考え方を集約してきたので、今回の調査結果のデータによってその内容が大きく左右されるということになると、今までの審議の意味をどう考えるべきかという疑問がでてきます。

委員：何事もまずは知るところから始まると思いますので、これから具体的な話になってくると、空き家の管理状態や位置、道路との接道条件といったことも重要な情報となってくると思います。また、市内の概況として、適正に管理されているものが8割で管理不良があるものが2割ということなので、この2割に対する問題点を掘り下げて対策を行うといいなどの議論があると思います。

副会長：今回の調査結果データはあくまで参考資料であって、どのように参考にするかはこれまでの審議を踏まえた上で、判断していけばよいと考えています。個人的には調査結果がイメージしていたものとよく似ており、これまで行ってきた審議の方向性の正しさを再認識できたと思っておりますので、あとはこのデータを各論でどのように活用していくのかも含めて協議会で議論できればと考えております。

部会長：副部会長からもありましたとおり、議論を総論から各論に移していくということで、審議を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

案件（2） 答申（素案）について

部会長：ただいま事務局から受けた説明については、これまでの部会で審議をいただいた内容を答申の素案の形で取りまとめたものとなっております。ご意見等はございますか。

委員：例えば資料2の17ページに、今、国を挙げて全国的に整備を進めようとしている空き家バンクという文言が出てきていないと思いますが、市としては特に空き家バンクの整備をする予定はないのでしょうか。

事務局：空き家の活用としては、まずは、地域の公共的課題の解決という点を中心としてマッチングを進めていきたいと考えております。

委員：これから空き家の所有者等の意向調査をして情報を集約していくことで、将来的に空き家バンクを構築することにも繋がっていくように思います。

委員：さきほどのページに記載のある「空き家・空き地の所有者等」のところと、「まちづくりや地域の活性化、公共的課題の解決に取り組む団体・グループ等」の間の双方向のマッチングというのが、空き家バンクにつながるのではないかと感じました。
また、今、国土交通省において空き家バンクの構築など、空き家対策に関するモデル事業について募集され、補助金が出るということですので、積極的に情報収集をしていただきますようお願いいたします。

委員：関連してですが、空き家対策を実施するうえで民間活力を利用することは非常に有意義で、他の地域などでも様々な事例がありますので是非とも参考にさせていただきたいと思っております。

委員：今回、計画で様々な施策を位置づけていますが、今後はこの計画に基づいて具体的な空き家の対策に取り組む必要があります。市として支援する部分もありますが、人的なものなのか、金銭的なものなのか、民間活力を利用するものなのかといったところを十分検討していただき、計画を推進していただきたいと思います。

事務局：承知いたしました。

委員：25ページにこの計画の進行管理、いわゆる PDCA サイクルについての話がありますが、取り組み状況の報告や今後の協議会の開催など、どのような形になるのでしょうか。

事務局：協議会につきましては、今後も計画の推進についてご協力いただきたいと考えており、計画の進捗状況などについて報告させていただき、ご意見をいただいて施策に反映させていくという形で進行管理をしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

案件（3） 今後のスケジュールについて

部会長：ただいま事務局から、今後のスケジュールについて説明いただきましたが、ご意見等がございますか。無いようですので、案件（3）については以上とします。

3 閉 会

部会長：本日の案件は以上ですが、事務局から何か連絡事項はありますでしょうか。

事務局：本日の案件につきまして、ご意見等がございましたら、7月7日をめどに事務局までご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。7月中旬に部会の開催を予定しております。後日、日程調整をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

部会長：以上をもちまして、本日の計画作成部会を閉会いたします。

以上